

教育学部 教育学科

教育学部教育学科の特徴と構成

教育学部教育学科は、教育学・保育学・心理学・社会福祉学の学問体系の理解を基に、学校・家庭・地域における教育・保育・福祉を主体的に創造する能力と態度を身につけた人材の養成を目的として、幼児教育専攻・児童教育専攻・健康教育専攻の3専攻をもって構成する。現場に幅広く対応できる資質を培うため、専攻を越え科目を履修できるものとする。(ただし、専攻以外の科目については、卒業要件単位にはならない)

教育学科 幼児教育専攻

1 専門教育科目的構成

1. 教育学科幼児教育専攻の教育目的

教育学科幼児教育専攻では、教育学・保育学の学問体系の理解の基に、学校教育や児童福祉・相談援助、発達支援等に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を基盤として、それらを現場で活用することができる総合的な実践能力を備えるとともに、生涯にわたり資質・能力の向上を図るために必要な基盤となる基礎的な研究能力を有して、教育福祉の実践活動の推進と向上に貢献する人材を養成する。

生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で重要な役割を果たす幼児教育は、優れた専門性を持ったスペシャリストによって実践されることが強く期待されている。一方で、現在の日本の幼児教育及び子育て環境は、多くの課題を抱えており、それらの解決に寄与できる人材も必要とされている。こうした現状を直視し、広い視野に立って、課題に取り組むことのできる人材を育成することを目的として優れた実践力、研究力を有した実践者を育成するための学習を体系的に行う。

2. 教育学科幼児教育専攻の特徴

教育学科幼児教育専攻では、今日の幼児教育の実情を踏まえた教育学、心理学、福祉学の理論的な学習と現場での実践的な体験学習をベースに、特別支援教育、健康教育などについての学習も含めて教育とその実践を段階的かつ多面的に学び、実践者としての専門性と実践力を高めていく。

授業はクラス単位で開講するが、演習や実技中心の授業は、グループ単位で開講し、3、4年次に開講するゼミナールは、各自の関心と専門性を深める学習と研究の仕上げとして開講する。

3. 教育課程の特色

● 教育学科幼児教育専攻カリキュラム

部門	主な内容	開設年次
基礎科目	教育学の基礎と学びの意味	1年次
基幹科目	専攻の学びの柱となる学び	1年次
幼児教育科目	幼児教育の理論と実践	
保育科目	保育の理論と実践	2~4年次
心理科目	心理学の理論	
福祉科目	福祉学の理論と実践	

実習科目	幼児教育の体験的学習	2~4年次
ゼミナール		
卒業研究	少人数による研究的体験的学び	3、4年次

教育学科としての基礎科目として位置づけられた5科目は、学問としての「教育学」を幅広く学び、教育を学ぶことの意味をとらえる科目として位置づけている。これらの学びを受けて、「専門基幹科目」においては、専門的な学習の柱となる学びと体験を目的とした科目を選択履修する。

「幼児教育科目」「保育科目」「心理科目」「福祉科目」「実習科目」は、それぞれの専門分野の学習と実習であり、免許、資格を取得し、それらの専門分野を深く学ぶための科目である。

ゼミナール、卒業研究では、研究・実践活動を通して、分析力、考察力、プレゼンテーション能力などを養い、4年間の学びの集大成とする。

2 履修方法

◆ 卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計124単位以上履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は32単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

● 必修科目（計32単位）

- 1年次：「キリスト教学」「基礎演習」「日本語演習」「女性と人権」「音楽の世界」「教養講義A」「自然科学入門」「情報処理」「英語コミュニケーションI・II」「体育講義」「体育実技」
- 2年次：「教養講義B」「総合コース」(A～Eのなかから1科目選択)、「英語リテラシーI・II」
- 3～4年次：「特殊研究」(2科目選択)

● 選択科目

- 2年次：「自然科学特論」
- 3年次：「科学技術論」

● 自由科目（卒業要件単位に含まれない）

- 1年次：「ドイツ語コミュニケーションI・II」「ドイツ語リテラシーI・II」「フランス語コミュニケーションI・II」「フランス語リテラシーI・II」「中国語コミュニケーションI・II」「中国語リテラシーI・II」
- 1～4年次：「シーズンスポーツ」
- 2～4年次：「スキルアップ英語」「スキルアップイタリア語」「スキルアップフランス語」「スキルアップ中国語」「スポーツ」
- 2～3年次：「実践フランス語I」「実践中国語I」
- 3～4年次：「実践フランス語II」「実践中国語II」
- 3年次：「日本国憲法」
- 4年次：「キャリア形成論」

2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件を満たし、合計 92 単位以上を履修すること。

- ①基礎科目 7 単位履修
- ②基幹科目 必修 1 単位を含め 7 単位以上履修
- ③ゼミナール 6 単位履修
- ④卒業研究 8 単位履修

1. キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に科目登録できる単位の上限を設ける制度である。

1 年度あたり修得できる単位数は、前期、後期それぞれ 28 単位、通年で 48 単位を超えてはならない。

なお、優れた成績で単位を修得した場合は、所定の科目を科目登録の上限から除外することを認める。

学科独自の、科目登録の上限に含めない科目は以下のとおりである。

授業科目名	授業科目名
【幼稚園教諭関係】	【認定心理士関係】
体育講義	家族心理学
体育実技	心理学基礎実験 I
教育原理（幼）	心理学基礎実験 II
教育心理学（幼）	
教育相談（幼）	
教職概論（幼）	
教育制度論（幼）	
教職実践演習（幼）	
幼児教育実習 I	
幼児教育実習指導 I	
幼児教育実習 II	
幼児教育実習指導 II	
【保育士関係】	【社会福祉士関係】
子どもの保健Ⅲ	ソーシャルワークの基礎 I
保育原理	ソーシャルワークの基礎 II
音楽	ソーシャルワーク論 I
保育内容総論	ソーシャルワーク論 II
保育実習 I	ソーシャルワーク論 III
保育実習指導 I	ソーシャルワーク論 IV
保育実習 II	ソーシャルワーク演習 I
保育実習指導 II	ソーシャルワーク演習 II
保育実習 III	ソーシャルワーク演習 III
保育実習指導 III	ソーシャルワーク演習 IV
専門基礎演習	ソーシャルワーク演習 V
子どもの保健 I	社会福祉基礎実習
子どもの保健 II	ソーシャルワーク実習
	ソーシャルワーク実習指導 I
	ソーシャルワーク実習指導 II

また、全学科において科目登録の上限に含めない科目があるので、詳しくは、「**5 キャップ制**」(P20) を参照すること。

2. 学外実習の履修要件

幼稚園教諭一種免許状、保育士資格、社会福祉士受験資格を取得するには、それぞれの現場での実習科目を履修しなければならない。実習科目を履修するには、それに関わる予備知識や技能が必要になる。

したがって、学外実習の履修要件は、実習科目を履修するための科目を修得済み、あるいは同時期に履修しなければならない（次頁の表 1 参照）。

3 取得できる免許と資格

● 取得できる資格・免許

幼稚園教諭一種免許状

保育士資格

認定心理士資格

社会福祉士国家試験受験資格

任用資格*

なお、実習科目を履修するための履修要件については、表 1 を参照のこと。

- ・認定心理士と社会福祉士の受験資格を同時に取得することはできない。
- ・社会福祉士の受験資格は、幼児教育専攻のみで取得することができる。
- ・社会福祉士受験資格を取得しようとする場合は、1 年次から履修しておくべき科目があるので、学生便覧 P140 を参照し、履修すること。また、3 年次から始まるゼミナールについては、ゼミ担当教員のうち、福祉科目担当の教員のいずれかのゼミを取ること。
- ・認定心理士資格を取得しようとする場合は、1 年次から履修すべき科目があるので、学生便覧 P141 を参考し履修すること。

*任用資格：知的障害者福祉司、社会福祉主事、生活支援員、生活相談員、児童指導員、児童福祉司・児童自立支援専門員

なお、知的障害者福祉司任用資格は、保育士資格または社会福祉士国家試験受験資格のいずれかの必要科目を修得すれば取得できる。社会福祉主事任用資格、生活支援員任用資格、生活相談員任用資格、児童指導員任用資格は、幼児教育専攻卒業要件を満たせば取得できる。児童福祉司任用資格、児童自立支援専門員任用資格は卒業後 1 年以上の実務経験後に取得できる。

4 教育課程表の記号について

- ・「卒業要件」…卒業に關わる授業科目
- ・「免許・資格」…免許・資格取得に關わる授業科目

必 修	◎
選択必修（複数の科目から指定の単位数を必ず選択する）	○
選 択（卒業要件単位）	△
自 由（卒業要件単位には含まれない）	◇

●表1 実習の条件となる科目

資格・免許	実習科目	事前に修得していかなければならない科目	事前または同時期に履修しなければならない科目
幼稚園教諭一種免許状	幼児教育実習Ⅰ (2年次9月頃)	専門基礎演習、教育原理（幼）、教育心理学（幼）、保育内容総論、保育内容（音楽表現）、保育内容（造形表現）	幼児教育実習指導Ⅰ、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（言葉）、保育内容（環境）
	幼児教育実習Ⅱ (3年次9月～10月頃)	幼児教育実習Ⅰ、幼児教育実習指導Ⅰ、教育制度論（幼）、教育方法論（幼）、教育課程論（幼）、教職概論（幼）、保育内容指導法Ⅰ	幼児教育実習指導Ⅱ、教育相談（幼）
保育士資格	保育実習Ⅰ (2年次12月頃)	専門基礎演習、保育原理、教育原理（幼）、社会福祉概論Ⅰ、発達心理学、子どもの保健Ⅰ、子どもの保健Ⅱ、子どもの保健Ⅲ、子どもの食と栄養、保育内容総論、保育内容（音楽表現）、保育内容（造形表現）	保育実習指導Ⅰ、乳児保育、音楽、図画工作、体育、教育課程論（幼）、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（環境）、保育内容（言葉）
	保育実習Ⅱ (3年次6月頃)	保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰ、乳児保育、音楽、図画工作、体育、教育課程論（幼）、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（言葉）、保育内容（環境）	保育実習指導Ⅱ、保育実習Ⅲ、保育実習指導Ⅲ
	保育実習Ⅲ (3年次8月～9月頃)	保育実習Ⅰ、保育実習指導Ⅰ、乳児保育、音楽、図画工作、体育、教育課程論（幼）、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（言葉）、保育内容（環境）、児童と家庭の福祉、社会的養護、社会的養護内容	保育実習指導Ⅲ、保育実習Ⅱ、保育実習指導Ⅱ
社会福祉士受験資格	ソーシャルワーク実習 (4年次6月～7月頃)	社会福祉概論Ⅰ、児童と家庭の福祉、障害児・者の福祉、社会福祉基礎実習、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ、ソーシャルワーク演習Ⅱ、ソーシャルワーク演習Ⅲ、ソーシャルワークの基礎Ⅰ、ソーシャルワークの基礎Ⅱ、ソーシャルワーク論Ⅰ、ソーシャルワーク論Ⅱ、保健医療、医学概論、高齢者福祉論、介護福祉概論	社会福祉概論Ⅱ、ソーシャルワーク実習指導Ⅱ、ソーシャルワーク演習Ⅳ、ソーシャルワーク演習Ⅴ

◆教育実習の履修要件

教育現場で実習を行うには、そのための最低限の知識や技能は身につけておく必要がある。教育実習を履修するにあたっては、必要な科目を修得していることが条件となる。また、学科による審査を経て、実習の可否を決定する。上表の要件を満たさない場合は、教育実習を行うことはできない。

教育学科 幼児教育専攻教育課程表

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格			
				1年次	2年次	3年次	4年次			保育士	幼稚園	認定心理士	社会福祉士
人文社会系科目	◎ キリスト教 学	2	2							◎			
	◎ 基礎演習	2	2										
	◎ 日本語演習	2	2										
	◎ 女性と人権	2	2										
	◎ 音楽の世界	2	2							◎			
	◎ 教養講義 A	2	2					可					
	◎ 教養講義 B	2		2				可					
	◎ 特殊研究	2		2				可	2科目4単位以上選択必修				
	◇ キャリア形成論	2			2								
	◇ 日本国憲法	2		2						◎			
自然系科目	◎ 自然科学入門	2	2							◎			
	△ 自然科学特論	2		2				可					
	△ 科学技術論	2		2									
情報科	◎ 情報処理	2	2							◎ ◎			
総合科目	○ 総合コース A	4		4				可	1科目4単位以上選択必修				
	○ 総合コース B	4		4				可					
	○ 総合コース C	4		4				可					
	○ 総合コース D	4		4				可					
	○ 総合コース E	4		4				可					
教外国語科目	◎ 英語コミュニケーション I	1	1							◎ ◎			
	◎ 英語コミュニケーション II	1	1							◎ ◎			
	◎ 英語リテラシー I	1		1									
	◎ 英語リテラシー II	1		1									
	◇ スキルアップ英語	1		1				可					
	◇ ドイツ語コミュニケーション I	1	1										
	◇ ドイツ語コミュニケーション II	1	1										
	◇ ドイツ語リテラシー I	1	1										
	◇ ドイツ語リテラシー II	1	1										
	◇ フランス語コミュニケーション I	1	1										
	◇ フランス語コミュニケーション II	1	1										
	◇ フランス語リテラシー I	1	1										
	◇ フランス語リテラシー II	1	1										
	◇ 中国語コミュニケーション I	1	1										
	◇ 中国語コミュニケーション II	1	1										
	◇ 中国語リテラシー I	1	1										
	◇ 中国語リテラシー II	1	1										
体育科目	◇ スキルアップドイツ語	1		1				可					
	◇ スキルアップフランス語	1		1				可					
	◇ スキルアップ中国語	1		1				可					
	◇ 実践フランス語 I	2		2				可					
	◇ 実践フランス語 II	2			2			可					
	◇ 実践中国語 I	2		2				可					
	◇ 実践中国語 II	2			2			可					
	◎ 体育講義	1	1							◎ ◎			
体育科目	◎ 体育実技	1	1							◎ ◎			
	◇ シーズンスポーツ	1		1				可					
	◇ スポーツ	1		1				可					

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格			
				1年次	2年次	3年次	4年次			保育士	幼稚園	認定心理士	社会福祉士
基礎科目	◎ 教育と共生社会	2	2						6単位以上選択必修				
	◎ 教育と伝統文化	1	1										
	◎ 教育と「学び」	1	1										
	◎ 教育と現代社会	1	1										
	◎ キリスト教教育論	2	2										
専門幹科科目	◎ キャリアデザイン	1		1									
	○ 特別支援教育概論	2	2										
	○ 心理学概論	2	2							◎	○		
	○ 社会福祉概論I	2	2							◎		◎	
	○ 子どもの保健I	2	2							◎			
	○ 学校臨床研究I	1		1									
	○ 学校臨床研究II	1		1									
専門教育科目	△ 教職概論(幼)	2		2						◎	◎		
	△ 教育原理(幼)	2	2							◎	◎		
	△ 教育制度論(幼)	2		2						○	○		
	△ 教育心理学(幼)	2	2							○	○	◎	
	△ 教育課程論(幼)	2		2						◎	○		
	△ 教育方法論(幼)	2		2						○	○		
	△ 発達心理学	2	2							◎	△	○	
	△ 国語	2	2							○			
	△ 算数	2	2							○			
	△ 生活	2	2							○	○		
	△ 音楽	2	2							○	○		
	△ 図画工作	2	2							○	○		
	△ 体育	2	2							○	○		
	△ 教育史	2	2							△			
	△ 保育内容総論	1	1							○	○		
	△ 保育内容(健康)	2		2						○	○		
	△ 保育内容(人間関係)	2		2						○	○		
	△ 保育内容(環境)	2		2						○	○		
	△ 保育内容(言葉)	2		2						○	○		
	△ 保育内容(音楽表現)	2	2							○	○		
	△ 保育内容(造形表現)	2	2							○	○		
	△ 保育内容指導法I	2		2						○	○		
	△ 保育内容指導法II	2		2						○	△		
	△ 保育実践研究	2				2				○	△		
	△ 障害児保育	2				2				○			
	△ 基礎ピアノ	1	1							○			
	△ 合唱I	1	1							○			
	△ 合唱II A	1		1									
	△ 合唱II B	1		1									
	△ 音楽実践基礎セミナーI	2	2										
	△ 音楽実践基礎セミナーII	2	2										
	△ アウトリーチ実習	1			1								
	△ 教育相談(幼)	2			2					○	○		
	△ 教職実践演習(幼)	2				2				○	○		

● 教育学部 教育学科幼児教育専攻教育課程表 2018年度入学者

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格			
				1年次	2年次	3年次	4年次			保育士	幼稚園	認定心理士	社会福祉士
保育科専門科目	△保育原理	2	2							◎			
	△児童と家庭の福祉	2	2							◎			◎
	△社会的養護	2		2						◎			
	△保育的心理学	2			2					◎	○		
	△子どもの保健Ⅱ	2	2							◎			
	△子どもの保健Ⅲ	2	2							◎			
	△子どもの食と栄養	2	2							◎			
	△家庭支援論	2			2					◎			
	△乳児保育	2		2						◎			
	△社会的養護内容	2		2						◎			
心理科専門科目	△保育相談支援	1				1				◎			
	△心理学研究法	2			2							◎	
	△心理統計法	2		2								◎	
	△学習心理学	2			2							○	
	△認知心理学	2				2						○	
	△臨床心理学	2		2							○	○	
	△乳幼児心理学	2		2							○	△	○
	△児童青年心理学	2		2							○	○	
	△生理心理学	2		2								○	
	△家族心理学	2			2						○	○	
福祉科専門科目	△カウンセリング法概説	2			2							○	
	△医学概論	2			2							○	
	△社会学	2	2									○	
	△社会福祉概論Ⅱ	2			2						○	○	
	△社会調査	2			2							○	
	△ソーシャルワークの基礎Ⅰ	2		2							○	○	
	△ソーシャルワークの基礎Ⅱ	2		2							○	○	
	△ソーシャルワーク論Ⅰ	2		2							○	○	
	△ソーシャルワーク論Ⅱ	2		2							○	○	
	△ソーシャルワーク論Ⅲ	2			2							○	
	△ソーシャルワーク論Ⅳ	2			2							○	
	△地域福祉論Ⅰ	2			2							○	
	△地域福祉論Ⅱ	2			2							○	
	△福祉行政財政と福祉計画	2			2							○	
	△社会福祉運営管理論	2			2							○	
	△社会保障論Ⅰ	2		2								○	
	△社会保障論Ⅱ	2		2								○	
	△高齢者福祉論	2			2							○	
	△介護福祉概論	2			2							○	
	△障害児・者の福祉	2		2								○	
	△公的扶助論	2			2							○	
目	△保健医療	2			2							○	
	△就労支援と更生保護	2			2							○	
	△権利擁護と成年後見	2			2							○	
	△ソーシャルワーク演習Ⅰ	2		2							○	○	
	△ソーシャルワーク演習Ⅱ	2			2							○	
	△ソーシャルワーク演習Ⅲ	2			2							○	
	△ソーシャルワーク演習Ⅳ	2			2							○	
	△ソーシャルワーク演習Ⅴ	2			2							○	
	△社会福祉基礎実習	1		1								○	
	△ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1			1							○	
	△ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1				1						○	
	△ソーシャルワーク実習	6					6					○	

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格			
				1年次	2年次	3年次	4年次			保育士	幼稚園	認定心理士	社会福祉士
専門実習科目	△保育実習指導	I	2		2					◎			
		I	2		2					◎			
		II	1			1				◎			
		II	2			2				◎			
		III	1			1				○			
		III	2			2				○			
	△幼児教育実習指導	I	1		1						◎		
		I	1		1						◎		
		II	1			1					◎		
		II	3			3					◎		
		III	2			2					◎		
	△心理学基礎実験	I	2			2						◎	
		II	2			2						◎	
ゼミナール	◎専門基礎演習		2	2									
	◎専門演習I		2			2							
	◎専門演習II		2			2							
	◎卒業研究演習I		2				2					○	
	◎卒業研究演習II		2				2					○	
卒業研究	◎卒業研究		4				4					○	
	一般教育科目	80											
	専門教育科目	220											
計		合	300										

教育学科 児童教育専攻

1 専門教育科目的構成

1. 教育学科児童教育専攻の教育目的

教育学科児童教育専攻では、初等教育（小学校・幼稚園）を中心にしながら、中等教育（英語）と特別支援教育に携わる教員の育成を目的とする。幼児期と児童期の連続性を踏まえ、かつ、英語教育、特別支援教育についても幅広く学び、理論と実践の融合を目指した教育を行う。

2. 教育学科児童教育専攻の特徴

教育学科児童教育専攻では、専門領域に関する大学での理論的な学習と、現場での実践的な学習を特に重視している。各教科の指導法に加え、障害のある子どもの実態とその支援について理解を深める。また、教育実習に加え、インターンシップを通して、小学校・幼稚園の実践についての理解を一層深める。

取得を希望する免許に応じて、2年次より3コース（幼小コース、小特コース、小中コース）に分かれ科目を履修する。授業は基本的にクラス単位で開講されるが、演習や実技中心の授業は、グループ単位で開講されるものもある。3年次の専門演習（ゼミナール）と4年次の卒業研究演習は、少人数による授業が中心となり、学生それぞれの関心・能力に合わせた指導を行う。

3. 教育課程の特色

教育学科児童教育専攻の専門教育科目は、教員として必要な知識・技能について、幅広い領域から、科目を選択できるよう設定されている。各科目は、学年進行に合わせて順序性と体系性に配慮して配置されている。1年次では、主に教育の基礎的事項及び教養的知識を学習する。2年次では、教育の骨組みとなる知識・方法・法規等を学ぶ。3年次では、ゼミ活動を通して、関心のある科目（領域）の知識や理解を深めるとともに、研究を進めるための基礎を学ぶ。4年次では、一連の研究活動を通して、分析力や考察力等を養う。

○ 教育学科児童教育専攻専門教育科目的構成

部門	主な内容	開設年次
基礎科目	教育を学ぶことの意義	1年次
基幹科目	教育専門の基礎	1～4年次
初等教育科目	専門的な知識・技能の習得	1～4年次
幼児教育科目	専門的な知識・技能の習得	1～4年次
英語教育科目	専門的な知識・技能の習得	1～4年次
保育科目	専門的な知識・技能の習得	1・3～4年次
特別支援科目	特別支援に関する知識・技能の習得	2～4年次
心理科目	心理に関する知識・技能の習得	2～4年次
福祉科目	福祉に関する知識・技能の習得	1～4年次
実習科目	教育実習に関する知識・技能の習得	2～4年次
ゼミナール	演習	1・3年次
卒業研究	学びの集大成	4年次

2 履修方法

◆ 卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計 124 単位以上を履修しなければならない。

その内訳は一般教育科目（22 単位）、教育学科児童教育専攻専門教育科目（102 単位）である。それについて履修上の要件が定められている。

1) 一般教育科目

一般教育科目は 22 単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

◎ 必修科目（計 22 単位）

- 1 年次：「キリスト教学」、「基礎演習」、「女性と人権」、「音楽の世界」、「自然科学入門」、「情報処理」、「英語コミュニケーション I ・ II」、「体育講義」、「体育実技」
- 2 年次：「総合コース」（A～E のなかから 1 科目選択）
- 3～4 年次：「特殊研究」

◎ 選択科目

- 1 年次：「日本語演習」、「教養講義 A」
- 2 年次：「教養講義 B」、「自然科学特論」
- 3 年次：「科学技術論」

◎ 自由科目（卒業要件単位には含まれない）

- 1 年次：「ドイツ語コミュニケーション I ・ II」、「ドイツ語リテラシー I ・ II」、「フランス語コミュニケーション I ・ II」、「フランス語リテラシー I ・ II」、「中国語コミュニケーション I ・ II」、「中国語リテラシー I ・ II」
- 3 年次：「日本国憲法」
- 4 年次：「キャリア形成論」
- 1～4 年次：「シーズンスポーツ」
- 2～4 年次：「スキルアップ英語」、「スキルアップドイツ語」、「スキルアップフランス語」、「スキルアップ中国語」、「スポーツ」
- 2～3 年次：「実践フランス語 I 」、「実践中国語 I 」
- 3～4 年次：「実践フランス語 II 」、「実践中国語 II 」

2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件を満たし、合計で 102 単位以上を履修すること。

教育学科児童教育専攻専門教育科目は、幾つかの科目群に分かれる。それぞれの部門において、履修しなければならない科目が設定されている。卒業に必要な 102 単位は、以下の要件を満たさなければならない。

○ 教育学科児童教育専攻の卒業要件

下表のように基礎科目群から 7 単位、基幹科目群から 9 単位、英語教育科目群から 14 単位、3 コースの中で該当する 1 コースで指定する 20 単位、ゼミナール 4 単位、卒業研究 2 単位を修得しなければならない。

	科目群	履修方法	単位数
1	基礎科目	全 5 科目	7
2	基幹科目	「キャリアデザイン」と「英語児童文学の世界」とその他の科目から 6 単位	9

3	英語教育科目	英語音声教育論、第二言語習得、English Communication I、English Reading I、English Reading II、異文化理解、英語科教育法 I	14
4	コース	※以下の別表から該当するコースの 20 単位以上	20
5	ゼミナール	専門基礎演習、専門演習 I・II	4
6	卒業研究	卒業研究演習 I・II	2

コース名	選択必修科目（20 単位以上選択）
幼小コース	国語、算数、生活、音楽、図画工作、体育、外国語活動、教育相談（幼・小）、保育内容総論、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（環境）、保育内容（言葉）、保育内容（音楽表現）、保育内容（造形表現）、保育内容指導法 I、幼児理解の理論と方法、時事英語 A、時事英語 B、観光英語
小特コース	国語、社会、算数、理科、生活、外国語活動、生徒指導の理論と方法（進路指導を含む）、教育相談（幼・小）、特別活動の理論と方法（小）、知的障害者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、知的障害教育総論、肢体不自由教育総論、病弱教育総論、視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、ADHD 教育論、時事英語 A、時事英語 B、観光英語
小中コース	外国語活動、英語学概論、ことばと人間 I、ことばと人間 II、英語教育セミナー I、英語教育セミナー II、英米文学概論、英文学史 I、英文学史 II、英米文学の世界 I、英米文学の世界 II、English Writing I、English Writing II、Presentation Skills I、Presentation Skills II、異文化交流、イギリス文化史 I、イギリス文化史 II、時事英語 A、時事英語 B、観光英語

◎キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に科目登録できる単位の上限を設ける制度である。

1 年度あたり修得できる単位数は、前期・後期それぞれ 28 単位、通年で 48 単位を超えてはならない。なお、優れた成績で単位を修得した場合は、所定の科目を科目登録の上限から除外することを認める。専攻独自の科目登録の上限に含めない科目は以下のとおりである。

1 年次開設	
特別支援教育概論	理科
教育原理（幼・小）	生活
教育心理学（幼・小）	保育内容総論
国語	保育内容（音楽表現）
社会	保育内容（造形表現）
算数	
2 年次開設	
教職概論（幼・小）	保育内容（環境）
教育制度論（幼・小）	保育内容（言葉）
教育課程論（幼・小）	保育内容指導法 I
教育方法論（幼・小）	知的障害者の心理・生理・病理
音楽科教育法	肢体不自由者の心理・生理・病理
図画工作科教育法	病弱者の心理・生理・病理
家庭科教育法	知的障害者教育総論
体育科教育法	視覚障害教育総論
道徳教育の理論と方法（小）	聴覚障害教育総論
特別活動の理論と方法（小）	幼児教育実習指導 I

保育内容（健康）	幼児教育実習 I
保育内容（人間関係）	
国語科教育法	肢体不自由教育総論
社会科教育法	肢体不自由者指導法
算数科教育法	病弱教育総論
理科教育法	病弱者指導法
生活科教育法	ADHD 教育論
生徒指導の理論と方法（進路指導を含む）	幼児教育実習指導 II
教育相談（幼・小）	幼児教育実習 II
幼児理解の理論と方法	初等教育実習指導
知的障害者指導法	初等教育実習
教職実践演習（幼・小）	特別支援教育実習（事前事後指導を含む）
情緒障害教育総論	

また、全学科において科目登録の上限に含めない科目があるので、詳しくは、「**5 キャップ制**」(P20) を参照すること。

◆教員免許取得の要件単位

1) 取得できる免許

小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害・肢体不自由・病弱）

※取得できる免許は、原則として 2 つの校種までとする。

ただし、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状をそれぞれ単独で取得することはできず、小学校教諭一種免許状の取得が必要である。

2) 条件となる科目

- 教員免許取得のためには、指定された科目の単位を修得しなければならない。教科に関する科目、教職に関する科目及び教科又は教職に関する科目のそれぞれに必要な科目と単位数が定められており、その要件を満たすように科目履修する。(P 111、113、114 参照)
- 一般教育科目の日本国憲法(2 単位)、情報処理(2 単位)、英語コミュニケーション I (1 単位)、英語コミュニケーション II (1 単位)、体育講義 (1 単位)、体育実技 (1 単位) を修得しなければならない。
- 小学校教諭一種免許状・中学校教諭一種免許状を取得するには、その他に、介護等体験を行うことが必要である。これは、科目ではないため履修登録し単位が認定されるものではないが、授業期間中に社会福祉施設と特別支援学校で計 7 日間、介護等について体験しなければならない。なお、幼稚園教諭免許の取得については不要である。

3) 学外実習

a) 教育実習

教員免許を取得するためには、学外で行う教育実習を履修しなければならない。

b) 教育実習の履修要件

教育現場で実習を行うには、そのための最低限の知識や技能を身につけておく必要がある。教育

実習を履修するにあたっては、必要な科目を修得していることが条件となる。また、学科による審査を経て、実習の可否を決定する。下表の要件を満たさない場合は、教育実習を行うことはできない。

○ 教育実習の条件となる科目

実習	事前に修得しておくべき科目	事前又は同時期に履修すべき科目
幼児教育実習Ⅰ (2年次)	教育原理（幼・小）、教育心理学（幼・小）、保育内容総論、保育内容（音楽表現）、保育内容（造形表現）、専門基礎演習	教職概論（幼・小）、教育制度論（幼・小）、教育課程論（幼・小）、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（環境）、保育内容（言葉）、保育内容指導法Ⅰ、幼児教育実習指導Ⅰ
幼児教育実習Ⅱ (3年次)	教職概論（幼・小）、教育制度論（幼・小）、教育課程論（幼・小）、教育方法論（幼・小）、保育内容（健康）、保育内容（人間関係）、保育内容（環境）、保育内容（言葉）、保育内容指導法Ⅰ、幼児教育実習指導Ⅰ、幼児教育実習Ⅰ、教科科目を2科目4単位以上	教育相談（幼・小）、幼児理解の理論と方法、幼児教育実習指導Ⅱ
初等教育実習 (3年次)	教職概論（幼・小）、教育原理（幼・小）、教育制度論（幼・小）、教育心理学（幼・小）、教育課程論（幼・小）、教育方法論（幼・小）、国語、社会、算数、理科、生活、全教科の教科教育法（9科目）、道徳教育の理論と方法（小）、生徒指導の理論と方法（進路指導を含む）、教育相談（幼・小）、特別活動の理論と方法（小）、専門基礎演習 ※この他に特別支援教育概論を修得してておくこと	初等教育実習指導
中等教育実習Ⅰ・Ⅱ (4年次)	教職概論、教育原理、教育制度論（中・高）、教育心理学、教育方法論、道徳教育の理論と方法、英語科教育法Ⅰ、英語科教育法Ⅱ、英語科教育法Ⅲ、生徒指導A（進路指導を含む）、教育相談、特別活動の理論と方法、英語学概論、英語音声教育論、英米文学概論、English Communication I、English Communication II、English Communication III、English Communication IV、English Reading I、English Writing I、Presentation Skills I、異文化理解	※「教育相談」は4年次再履修の場合でも実習を認める。
特別支援教育実習 (4年次)	特別支援教育概論、知的障害者の心理・生理・病理、肢体不自由者の心理・生理・病理、病弱者の心理・生理・病理、知的障害者指導法、肢体不自由教育総論、知的障害者指導法、病弱教育総論、病弱者指導法 視覚障害教育総論、聴覚障害教育総論、ADHD教育論	初等教育実習指導 初等教育実習 ※3年次開講予定の特別支援教育科目の必修科目6科目のうち、2科目は同時期に履修することをとする。

3 取得できる免許と資格

小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状（英語）、特別支援学校教諭一種免許状（知的障害・肢体不自由・病弱）、司書教諭を取得できる他、下記の任用資格を取得できる。

児童指導員・・・卒業同時に取得できる

児童福祉司・・・卒業後、指定施設における1年以上の実務経験後に取得できる

児童自立支援専門員・・・

小学校教諭免許状の取得者で、1年以上の実務経験後に取得できる

4 教育課程表の記号について

- ・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目
- ・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目

必修 ◎

選択必修（複数の科目から指定の単位数を必ず選択する）..... ○

選択（卒業要件単位）..... △

自由（卒業要件単位には含まれない）..... ◇

5 教育課程表

教育学科児童教育専攻教育課程表

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再履修	備考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			幼稚園	小学校	英語(中学校)	特別支援	司書教諭
人文社会系科目	◎	キリスト教学	2	2										
	◎	基礎演習	2	2										
	△	日本語演習	2	2										
	◎	女性と人権	2	2										
	◎	音楽の世界	2	2										
	△	教養講義A	2	2					可					
	△	教養講義B	2		2				可					
	◎	特殊研究	2			2		可						
	◇	キャリア形成論	2				2							
	◇	日本国憲法	2				2				◎	◎	◎	
一般	◎	自然科学入門	2	2										
	△	自然科学特論	2		2				可					
	△	科学技術論	2			2								
	◎	情報処理	2	2							◎	◎	◎	
	○	総合コースA	4		4				可	1科目4単位以上選択必修				
総合科目	○	総合コースB	4		4				可					
	○	総合コースC	4		4				可					
	○	総合コースD	4		4				可					
	○	総合コースE	4		4				可					
	○	英語コミュニケーションI	1	1						◎	◎	◎		
国語科目	○	英語コミュニケーションII	1	1						◎	◎	◎		
	◇	スキルアップ英語	1			1		可						
	◇	ドイツ語コミュニケーションI	1	1										
	◇	ドイツ語コミュニケーションII	1	1										
	◇	ドイツ語リテラシーI	1	1										
	◇	ドイツ語リテラシーII	1	1										
	◇	フランス語コミュニケーションI	1	1										
	◇	フランス語コミュニケーションII	1	1										
	◇	フランス語リテラシーI	1	1										
	◇	フランス語リテラシーII	1	1										
	◇	中国語コミュニケーションI	1	1										
	◇	中国語コミュニケーションII	1	1										
	◇	中国語リテラシーI	1	1										
	◇	中国語リテラシーII	1	1										
	◇	スキルアップドイツ語	1		1			可						
体育科目	◇	スキルアップフランス語	1		1			可						
	◇	スキルアップ中国語	1		1			可						
	◇	実践フランス語I	2		2			可						
	◇	実践フランス語II	2			2		可						
	◇	実践中国語I	2		2			可						
	◇	実践中国語II	2			2		可						
体育科目	◎	体育講義	1	1						◎	◎	◎		
	◎	体育実技	1	1						◎	◎	◎		
	◇	シーズンスポーツ	1		1			可						
	◇	スポーツ一ツ	1		1			可						

● 教育学部 教育学科児童教育専攻教育課程表 2018年度入学者

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			幼稚園	小学校	英語(中学校)	特別支援	司書教諭
専門基礎科目	◎ 教育と共生社会	2	2											
	◎ 教育と伝統文化	1	1											
	◎ 教育と「学び」	1	1											
	◎ 教育と現代社会	1	1											
	◎ キリスト教教育論	2	2											
	◎ キャリアデザイン	1		1										
	○ 特別支援教育概論	2	2									◎		
	○ 心理学概論	2	2											
	○ 社会福祉概論Ⅰ	2	2											
	○ 子どもの保健Ⅰ	2	2											
専門幹科科目	○ 学校臨床研究Ⅰ	1		1				可					△	
	○ 学校臨床研究Ⅱ	1		1				可					△	
	◎ 英語児童文学の世界	2		2									△	
	△ 教職概論(幼・小)	2		2							◎	◎		
	△ 教育原理(幼・小)	2	2							◎	◎			
	△ 教育制度論(幼・小)	2		2						◎	◎			
	△ 教育心理学(幼・小)	2	2							◎	◎			
	△ 教育課程論(幼・小)	2		2						◎	◎			
	△ 教育方法論(幼・小)	2		2						◎	◎			
	△ 発達心理学	2	2							△	△			
教育等科目	△ 国語	2	2							○	○			
	△ 社会	2	2							○				
	△ 算数	2	2							○	○			
	△ 理科	2	2							○				
	△ 生活	2	2							○	○			
	△ 音楽	2	2							○	○			
	△ 図画工作	2	2							○	○			
	△ 家庭	2	2							○				
	△ 体育	2	2							○	○			
	△ 外国語活動	2		2						△				
教育科目	△ 教育史	2	2							△	△			
	△ 学校授業論A	2		2										
	△ 学校授業論B	2		2										
	△ 授業実践研究	2				2				△				
	△ 国語科教育法	2			2					◎				
	△ 社会科教育法	2			2					◎				
	△ 算数科教育法	2			2					◎				
	△ 理科教育法	2			2					◎				
	△ 生活科教育法	2			2					◎				
	△ 音楽科教育法	2		2						◎				
科目	△ 図画工作科教育法	2		2						◎				
	△ 家庭科教育法	2		2						◎				
	△ 体育科教育法	2		2						◎				
	△ 基礎ピアノ	1	1											
	△ 合唱I	1	1											
	△ 合唱II A	1		1				可						
	△ 合唱II B	1		1				可						
	△ 音楽実践基礎セミナーI	2		2					可					
	△ 音楽実践基礎セミナーII	2		2					可					
	△ アウトリーチ実習	1			1									

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再履修	備考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			幼稚園	小学校	英語(中学校)	特別支援	司書教諭
専門 児童 教育 科目	△保育内容総論	1	1							◎				
	△保育内容(健康)	2		2						◎				
	△保育内容(人間関係)	2		2						◎				
	△保育内容(環境)	2		2						◎				
	△保育内容(言葉)	2		2						◎				
	△保育内容(音楽表現)	2	2							◎				
	△保育内容(造形表現)	2	2							◎				
	△保育内容指導法I	2		2						◎				
	△保育内容指導法II	2		2						△				
	△保育実践研究	2				2				△				
	△障害児保育	2				2								
	△幼児理解の理論と方法	2			2					◎				
	△英語学概論	2		2							◎			
	◎英語音声教育論	2	2								◎			
	△ことばと人間I	2		2							△			
英語 教育 科目	△ことばと人間II	2		2							△			
	◎第二言語習得	2		2							△			
	△英語教育セミナーI	2			2						△			
	△英語教育セミナーII	2			2						△			
	△英米文学概論	2			2						◎			
	△英文学史I	2				2					△			
	△英文学史II	2				2					△			
	△英米文学の世界I	2			2						△			
	△英米文学の世界II	2			2						△			
	◎English Communication I	2		2							◎			
	△English Communication II	2		2							◎			
	△English Communication III	2		2							◎			
	△English Communication IV	2		2							◎			
	◎English Reading I	2	2								◎			
	◎English Reading II	2		2							△			
教育 科目	△English Reading III	2		2							△			
	△English Reading IV	2			2						△			
	△English Writing I	2			2						◎			
	△English Writing II	2			2						△			
	△English Writing III	2			2						△			
	△Presentation Skills I	2			2						◎			
	△Presentation Skills II	2			2						△			
	◎異文化理解	2		2							◎			
	△異文化交流	2		2							△			
	△イギリス文化史I	2			2						△			
	△イギリス文化史II	2			2						△			
	◎英語科教育法I	2	2								◎			
	△英語科教育法II	2		2							◎			
	△英語科教育法III	2		2							◎			
	△英語科教育法IV	2			2						△			
科目	△英語科授業実践演習	2			2						△			
	△時事英語A	2			2									
	△時事英語B	2			2									
	△観光英語	2			2									
	△Overseas Study Preparation	2			2									
	△Overseas Study	4			4									
	△保育の心理学	2			2									
	△子どもの保健II	2	2											
	△子どもの食と栄養	2	2											
	△家庭支援論	2				2								
保育科目	△保育相談支援	1				1								

● 教育学部 教育学科児童教育専攻教育課程表 2018年度入学者

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格				
				1年次	2年次	3年次	4年次			幼稚園	小学校	英語(中学校)	特別支援	司書教諭
専別支援科目	△ 知的障害者の心理・生理・病理	2		2									◎	
	△ 肢体不自由者の心理・生理・病理	2		2									◎	
	△ 病弱者の心理・生理・病理	2		2									◎	
	△ 知的障害教育総論	2		2									◎	
	△ 知的障害者指導法	2			2								◎	
	△ 肢体不自由教育総論	2			2								◎	
	△ 肢体不自由者指導法	2			2								◎	
	△ 病弱教育総論	2			2								◎	
	△ 病弱者指導法	2			2								◎	
	△ 視覚障害教育総論	1		1									◎	
	△ 听覚障害教育総論	1		1									◎	
	△ 情緒障害教育総論	2				2							◎	
	△ A.D.H.D.教育論	2			2								◎	
	△ L.D.教育論	2			2								△	
心理科目	△ 学習心理学	2			2									
	△ 認知心理学	2				2								
	△ 臨床心理学	2		2										
	△ 乳幼児心理学	2		2									△	
	△ 児童青年心理学	2		2									△	
	△ 家族心理学	2			2								△	
	△ カウンセリング法概説	2			2									
福祉科目	△ 社会会学	2	2											
	△ 社会福祉概論Ⅱ	2				2								
	△ ソーシャルワークの基礎Ⅰ	2		2										
	△ ソーシャルワークの基礎Ⅱ	2		2										
	△ 社会保障論Ⅰ	2		2										
	△ 社会保障論Ⅱ	2		2										
	△ 公的扶助論	2			2									
実習科目	△ 特別支援教育実習(事前事後指導を含む)	3				3							◎	
	△ 幼児教育実習指導Ⅰ	1		1									◎	
	△ 幼児教育実習Ⅰ	1		1									◎	
	△ 幼児教育実習指導Ⅱ	1			1								◎	
	△ 幼児教育実習Ⅱ	3			3								◎	
	△ 初等教育実習指導	1			1								◎	
	△ 初等教育実習	4			4								◎	
	△ 中等教育実習指導	1				1							◎	
	△ 中等教育実習Ⅰ	2				2							◎	
	△ 中等教育実習Ⅱ	2				2							◎	
ゼミナル	◎ 専門基礎演習	2	2											
	◎ 専門演習Ⅰ	1			1									
	◎ 専門演習Ⅱ	1			1									
	◎ 卒業研究演習Ⅰ	1				1								
	◎ 卒業研究演習Ⅱ	1				1								
教職に関する科目	◇ 教職概論	2	2										◎	
	◇ 教育原理	2	2										◎	
	◇ 教育心理学	2		2									◎	
	◇ 教育制度論(中・高)	2	2										◎	
	◇ 道徳教育の理論と方法	2		2									◎	
	◇ 特別活動の理論と方法	2		2									◎	
	◇ 教育方法論	2		2									◎	
	◇ 生徒指導A(進路指導を含む)	2		2									◎	
	◇ 教育相談	2			2								◎	
	◇ 教職実践演習(中・高)	2				2							◎	
司書する教諭科目	◇ 学校経営と学校図書館	2			2								◎	
	◇ 学校図書館メディアの構成	2			2								◎	
	◇ 学習指導と学校図書館	2			2								◎	
	◇ 読書と豊かな人間性	2			2								◎	
	◇ 情報メディアの活用	2			2								◎	
計	一般教育科目	78												
	専門教育科目	290												
	教職に関する科目	20												
	司書教諭に関する科目	10												
	合計	398												

教育学科 健康教育専攻

1 専門教育科目的構成

1. 教育学科健康教育専攻の教育目的

教育学科健康教育専攻は、養護教諭や保健体育教諭など、今日の子どもたちが抱える健康課題を熟知し、子どもや保護者、社会のニーズに応え、子どもの発達を適切に支援できる専門家の育成を目指している。子どもたちの教育や発達、健康諸科学に関する専門的な知識や技能、教師としての実践的な知識や技能を基礎から学び、それらを教育や養護、看護などの現場体験を経る中で、生きた専門知識や技能として修得し、実践の場で活用する方法を身につけることが目標となる。

また狭い専門に留まることなく、関連する専門領域の科目も広く学び、幅広い教養も身に付けることで、物事に対する多様な見方・視点を養い、子どもたちの健康を多面的に理解できる専門家、確かな専門性に裏打ちされた健康教育の専門家を育成する。

2. 教育学科健康教育専攻の特徴

従来、本学では養護教諭を食品栄養学科の課程として養成してきたが、これを教育学科健康教育専攻の課程に移すことで、これまで以上に学校教育全体を深く理解し、子どもの多様な健康課題に寄り添える養護教諭を目指すことが可能となる。また中学・高校の保健体育教員養成課程も同時に開設することで、より総合的な観点から健康教育に取り組む人材を育成できる専攻となった。

本専攻は教育や養護、看護などの諸現場の現状と課題を踏まえた理論的な学習と、諸現場での実践的な学びを重視している。この理論と実践の相互的学びを通して、確かな専門性に裏付けられた、即戦力としての能力が身に付くようになっている。また参加型の少人数教育が行われることにより、知識・技能を活用する能力や批判的・論理的な思考力、課題解決力、表現力そして教師としての人間力の育成が目指され、教育者としての総合的な力量形成に資するようになっていることを特徴としている。

3. 教育課程の特色

教育学科健康教育専攻の教育課程は、一般教育科目、専門教育科目に大別される。一般教育科目は、社会が抱える様々な課題など専門領域とは異なる領域に目を向けさせ、学生諸姉の物事を考える視点の多様化に資するであろうし、また大学での学び方など実践的な学びも提供してくれるだろう。一方、専門教育科目は、1年次では教育について幅広く学び、健康教育に必要な基礎的な知識と技能を修得する。2年次以降は健康教育をめぐる専門的な知識や技能を高め、教育現場など各実践の場を経験する中で、実践力を磨いていく。4年次には「教育実習」「養護実習」を通して実践力を確かなものにするとともに、「卒業研究」によって、4年間の学びを完成させることになる。

2 履修方法

◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、かつ合計124単位以上を履修しなければならない。

1) 一般教育科目

一般教育科目は32単位以上履修すること。その科目の内訳は以下の通り。

●必修科目（計32単位）

1年次：「キリスト教学」、「基礎演習」、「日本語演習」、「女性と人権」、「音楽の世界」、「教養講義A」、「自然科学入門」、「情報処理」、「英語コミュニケーションI・II」、「体育講義」、「体育実技」

2年次：「教養講義B」、「総合コース」（A～Eのなかから1科目選択）、「英語リテラシーI・II」

3～4年次：「特殊研究」（2科目選択）

●選択科目

2年次：「自然科学特論」

3年次：「科学技術論」

●自由科目（卒業要件単位に含まれない）

1年次：「ドイツ語コミュニケーションI・II」、「ドイツ語リテラシーI・II」、「フランス語コミュニケーションI・II」、「フランス語リテラシーI・II」、「中国語コミュニケーションI・II」、「中国語リテラシーI・II」

1～4年次：「シーズンスポーツ」

2～4年次：「スキルアップ英語」、「スキルアップドイツ語」、「スキルアップフランス語」、「スキルアップ中国語」、「スポーツ」

2～3年次：「実践フランス語I」、「実践中国語I」

3～4年次：「実践フランス語II」、「実践中国語II」

3年次：「日本国憲法」

4年次：「キャリア形成論」

2) 専門教育科目

専門教育科目は以下の要件を満たし、合計で92単位以上履修すること。

①専門教育科目：基礎科目の「教育と共生社会」等全5科目：7単位

②専門教育科目：基幹科目のうち必修科目「キャリアデザイン」1単位を含め、7単位以上

③専門教育科目：ゼミナール6単位

④専門教育科目：卒業研究8単位

①～④の合計：28単位

残り64単位の専門教育科目は、上記科目以外の専門教育科目から任意に選択し履修する。ただし後掲の教育課程表中の「卒業要件」に「△」印のついた「教職に関する科目」は卒業要件単位ではないので、それらを含めることはできない。

3) 学外実習について

免許や資格を取得するためには、学外実習を履修し

なければならないが、その実習に対応した知識や技能が要求される。そのため学外施設での実習を履修する要件となる科目を定める。それらの科目の単位（事前または同時期に受講）を取得していなければ原則的に実習を受けることができない。

履修要件となる科目一覧

○養護教諭一種免許状

- 「臨床看護実習」（3年次2月頃）の要件科目

養護に関する科目

「学校看護学」、「看護学実習Ⅰ」、「看護学実習Ⅱ」、「看護学実習Ⅲ（救急処置）」
（「看護学実習Ⅱ」については同時期履修でも可）

- 「養護実習」（4年次前期）の要件科目

教職に関する科目

「教育原理」、「教育制度論（養・栄）」、「教職概論」、「教育心理学」、「教育方法論」、「教育課程総論」、「生徒指導B」、「教育相談」

養護に関する科目

「栄養学（食品学を含む）」、「解剖生理学」、「生理学」、「学校保健」、「学校看護学」、「養護概説」、「看護学実習Ⅰ」、「看護学実習Ⅱ」、「看護学実習Ⅲ（救急処置）」

※併せて「教職に関する科目」のうち「教育相談」を除いた科目平均が70点以上であること。

※「教育相談」は4年次再履修の場合でも認める。

○中学校保健体育教諭一種免許状

- 「教育実習」（4年次前期または後期）の要件科目

教職に関する科目

「教育原理」、「教育制度論（中・高）」、「教職概論」、「教育心理学」、「教育方法論」、「道徳教育の理論と方法」、「生徒指導A」、「特別活動の理論と方法」、「保健体育科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「教育相談」

教科に関する科目

「スポーツ実技A・B・C・D」、「体育原理」、「体育心理学」、「体育経営管理学」、「体育社会学」、「運動学」、「生理学」、「衛生学」、「公衆衛生学」、「子どもの保健Ⅰ」、「精神保健」、「救急看護法」、「学校保健」

※併せて「教職に関する科目」のうち「教育相談」を除いた科目平均が70点以上であること。

※「教育相談」は4年次再履修の場合でも認める。

○高等学校保健体育教諭一種免許状

教職に関する科目

「教育原理」、「教育制度論（中・高）」、「教職概論」、「教育心理学」、「教育方法論」、「生徒指導A」、「特別活動の理論と方法」、「保健体

育科教育法Ⅰ・Ⅱ」、「教育相談」

教科に関する科目

「スポーツ実技A・B・C・D」、「体育原理」、「体育心理学」、「体育経営管理学」、「体育社会学」、「運動学」、「生理学」、「衛生学」、「公衆衛生学」、「子どもの保健Ⅰ」、「精神保健」、「救急看護法」、「学校保健」

※併せて「教職に関する科目」のうち「教育相談」を除いた科目平均が70点以上であること。

※「教育相談」は4年次再履修の場合でも認める。

●キャップ制について

全体の学修計画（P.20）に記載されているように、授業の予習や復習など教室外で行う学習の時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に科目登録できる単位の上限を設ける制度である。1年度あたり修得できる単位数は、前期・後期それぞれ28単位、通年で48単位を超えてはならないとされている。なお卒業要件単位以外の教職関連科目は、この制限単位を超えて履修できる。

そのほかに優れた成績で単位を修得した場合、科目登録の上限を超えて履修できる健康教育専攻独自の科目として、以下のものがある。

	1年次開設
子どもの保健Ⅰ	発達心理学
	2年次開設
公衆衛生学	学校保健
	3年次開設
体育経営管理学	カウンセリング法概説
臨床看護実習	
	1～4年次開設
スポーツ実技A	スポーツ実技B
スポーツ実技C	スポーツ実技D

3 取得できる免許と資格

健康教育専攻では、次の免許状と資格を取得することができます。

- ・養護教諭一種免許状
- ・中学校教諭一種免許状（保健体育）
- ・高等学校教諭一種免許状（保健体育）
- ・任用資格：社会福祉主事

4 教育課程表の記号について

- ・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目
- ・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目

必 修	◎
選択必修	（複数の科目から指定の単位数を必ず選択する）	○
選 択	（卒業要件単位）	△
自 由	（卒業要件単位には含まれない）	◇

5 教育課程表

教育学科健康教育専攻教育課程表

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格		
				1年次	2年次	3年次	4年次			保体(中学校)	保体(高校)	養護
人文社会系科目	◎ キリスト教学	2	2									
	◎ 基礎演習	2	2									
	◎ 日本語演習	2	2									
	◎ 女性と人権	2	2									
	◎ 音楽の世界	2	2									
	◎ 教養講義A	2	2					可				
	◎ 教養講義B	2		2				可				
	◎ 特殊研究	2			2			可	2科目4単位以上選択必修			
般自然系科目	◇ キャリア形成論	2				2						
	◇ 日本国憲法	2			2					◎	◎	◎
	◎ 自然科学入門	2	2									
	△ 自然科学特論	2		2				可				
情報科目	△ 科学技術論	2			2							
	◎ 情報処理	2	2							◎	◎	◎
	○ 総合コースA	4		4				可	1科目4単位以上選択必修			
教養科目	○ 総合コースB	4		4				可				
	○ 総合コースC	4		4				可				
	○ 総合コースD	4		4				可				
	○ 総合コースE	4		4				可				
	○ 英語コミュニケーションI	1	1							◎	◎	◎
国語科目	○ 英語コミュニケーションII	1	1							◎	◎	◎
	○ 英語リテラシーI	1		1								
	○ 英語リテラシーII	1		1								
	◇ スキルアップ英語	1			1			可				
	◇ ドイツ語コミュニケーションI	1	1									
	◇ ドイツ語コミュニケーションII	1	1									
	◇ ドイツ語リテラシーI	1	1									
	◇ ドイツ語リテラシーII	1	1									
	◇ フランス語コミュニケーションI	1	1									
	◇ フランス語コミュニケーションII	1	1									
	◇ フランス語リテラシーI	1	1									
	◇ フランス語リテラシーII	1	1									
	◇ 中国語コミュニケーションI	1	1									
	◇ 中国語コミュニケーションII	1	1									
	◇ 中国語リテラシーI	1	1									
	◇ 中国語リテラシーII	1	1									
体育科目	◇ スキルアップドイツ語	1		1				可				
	◇ スキルアップフランス語	1		1				可				
	◇ スキルアップ中国語	1		1				可				
	◇ 実践フランス語I	2		2				可				
	◇ 実践フランス語II	2			2			可				
	◇ 実践中国語I	2		2				可				
	◇ 実践中国語II	2			2			可				
	○ 体育講義	1	1							◎	◎	◎
体育科目	○ 体育実技	1	1							◎	◎	◎
	◇ シーズンスポーツ	1		1				可				
	◇ スポーツ	1		1				可				

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格		
				1年次	2年次	3年次	4年次			保体 (中学校)	保体 (高校)	養護
専門基礎科目	◎ 教育と共生社会	2	2									
	◎ 教育と伝統文化	1	1									
	◎ 教育と「学び」	1	1									
	◎ 教育と現代社会	1	1									
	◎ キリスト教教育論	2	2									
	◎ キャリアデザイン	1		1								
	○ 特別支援教育概論	2	2									
	○ 心理学概論	2	2									
	○ 社会福祉概論Ⅰ	2	2									
	○ 子どもの保健Ⅰ	2	2									
専門幹科科目	○ 学校臨床研究Ⅰ	1		1								
	○ 学校臨床研究Ⅱ	1		1								
	△ 発達心理学	2	2								△	△
	△ 国語	2	2									
	△ 社会会	2	2									
	△ 算数	2	2									
	△ 理科	2	2									
	△ 教育史	2	2									
	△ 学校授業論A	2		2								
	△ 学校授業論B	2		2								
初等教育科目	△ 授業実践研究	2			2							
	△ 国語科教育法	2			2							
	△ 社会科教育法	2			2							
	△ 算数科教育法	2			2							
	△ 理科教育法	2			2							
	△ 子どもの保健Ⅱ	2	2								△	△
	△ 情緒障害教育総論	2			2							
	△ A D H D 教育論	2			2							
	△ L D 教育論	2			2							
	△ 精神保健	2		2							◎	◎
保健・養護科目	△ 衛生学	2	2								◎	◎
	△ 公衆衛生学	2		2							◎	◎
	△ 学校保健	2		2							◎	◎
	△ スポーツ実技A	1		1				可			◎	◎
	△ スポーツ実技B	1		1				可			◎	◎
	△ スポーツ実技C	1		1				可			◎	◎
	△ スポーツ実技D	1		1				可			◎	◎
	△ 体育原理	2	2								◎	◎
	△ 体育心理学	2		2							◎	◎
	△ 体育経営管理学	2			2						◎	◎
目次	△ 体育社会学	2			2						◎	◎
	△ 運動学	2		2							◎	◎
	△ コーチング論	2		2								

部門	卒業要件	授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	免許・資格		
				1年次	2年次	3年次	4年次			保体(中学校)	保体(高校)	養護
専門 保健・養護科 目	△トレーニング論	2		2								
	△体力測定法	2		2								
	△生理学	2		2						◎	◎	◎
	△救急看護法	2		2						◎	◎	
	△健康新相談	2		2								◎
	△養護概説	2			2							◎
	△保健教育法	2			2							
	△栄養学(食品学を含む)	2		2								◎
	△解剖生理学	2	2									◎
	△免疫学	2			2							◎
	△基礎医学(こどもの健康課題)I	2			2							
	△基礎医学(こどもの健康課題)II	2			2							
	△学校看護学	2		2								◎
	△学習心理学	2			2							
教 心理科 目	△認知心理学	2				2						
	△臨床心理学	2		2								
	△児童青年心理学	2		2								
	△家族心理学	2			2							
	△カウンセリング法概説	2			2					△	△	△
	△社会学	2	2									
育 福祉科 目	△社会福祉概論II	2				2						
	△ソーシャルワークの基礎I	2		2								
	△ソーシャルワークの基礎II	2		2								
	△社会保障論I	2		2								
	△社会保障論II	2		2								
	△公的扶助論	2			2							
実習科 目	△臨床看護実習	4			4							◎
	△看護学実習I	2			2							◎
	△看護学実習II	2			2							◎
	△看護学実習III(救急処置)	2			2							◎
ゼミナール	○専門基礎演習	2	2									
	○専門演習I	2			2							
	○専門演習II	2			2							
卒業研究	○卒業研究演習I	2				2						
	○卒業研究演習II	2				2						
	○卒業研究	4				4						
教職に 関する科 目	◇教育原理	2	2							◎	◎	◎
	◇教育制度論(中・高)	2	2							◎	◎	
	◇教育制度論(養・栄)	2	2									◎
	◇教職概論	2	2							◎	◎	◎
	◇教育心理学	2		2						◎	◎	◎
	◇教育方法論	2		2						◎	◎	◎
	◇教育課程総論	2		2								◎
	◇道徳教育の理論と方法	2		2						◎	△	
	◇特別活動の理論と方法	2		2						◎	◎	
	◇生徒指導A(進路指導を含む)	2		2						◎	◎	
	◇生徒指導B	2		2								◎
	◇教育相談	2			2					◎	◎	◎
	◇保健体育科教育法I	2		2						◎	◎	
	◇保健体育科教育法II	2		2						◎	◎	
	◇保健体育科教育法III	2			2					◎	△	
	◇保健体育科教育法IV	2			2					△	△	
	◇教職実践演習(中・高)	2				2				◎	◎	
	◇教職実践演習(養護教諭)	2				2						◎
	◇教育実習A(事前事後指導を含む)	5				5				◎	※	
	◇教育実習B(事前事後指導を含む)	3				3				◎	◎	
	◇養護実習(事前事後指導を含む)	5				5						◎
計		一般教育科目	80									
計		専門教育科目	152									
計		教職に関する科目	49									
計		合	281									